

—より強く、よりしなやかに—
ファイン・ヒート・テクノロジー

NETUREN **ネツレン**
NETUREN 高周波熱錬株式会社

NETUREN REPORT

第105期 中間ネツレンレポート

2015年4月1日から2015年9月30日まで

証券コード 5976



株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第105期中間ネツレンレポートをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

溝口 茂

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用情勢の改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、米国においては堅調に推移しているものの、中国の景気減速などを背景に、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」に掲げた成長戦略である積極的な海外事業展開と、「経営」「技術」「生産」「機能」「人づくり」における革新に取り組むことにより、経営体質の強化、企業価値のさらなる向上を図ってまいりました。

しかし、主として建設業界および建設機械業界からの受注が本格的な回復に至っていないことが、当社グループの業績に影響を与えております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、21,963百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は、1,047百万円（前年同期比30.5%減）、経常利益は、1,377百万円（前年同期比13.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、852百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における中間配当につきましては、基本方針に基づき、1株につき金7円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、海外景気の下振れによってわが国の景気が下押しされる懸念があるほか、建設業界および建設機械業界からの受注動向も不透明なことから、当社を取り巻く経営環境は今後も厳しい状況が継続するものと懸念しております。

このような状況下ではございますが、当社グループは、第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」に基づいた海外事業投資を含む積極的な事業展開を行い、高い成長力・効率性を実現することにより、事業基盤の強化・企業価値の向上に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年12月

NETUREN FLASH

NETUREN MEXICO,S.A. de C.V 起工式の開催

2015年6月、NETUREN MEXICO,S.A. de C.V (メキシコ合衆国アグアスカリエンテス州)において、同社の起工式が開催されました。

当日は、アグアスカリエンテス州政府関係者や工場建設に携わった多数の関係者のご来場をいただき、起工式が行われました。

今後、当社グループにおける北中米での事業戦略の重要な拠点にしてまいります。



除幕を行うネツレン・メキシコの中尾社長(左)とロザノ・デラトーレ州知事(右)

チェコ共和国・自動車産業投資セミナーでの講演

2015年6月、大阪商工会議所(大阪市中央区)において開催されたチェコ共和国・自動車産業投資セミナーで溝口社長が講演を行いました。

講演では、同国への進出を検討している約50名の企業関係者を前に、当社の進出当時のエピソードを交えながら、進出企業から見た同国の魅力をPRするとともに、当社の技術も紹介し、欧州での今後の事業展開についてアピールいたしました。



講演を行う溝口社長

いばらき産業立地セミナーでの講演

2015年10月、ロイヤルパークホテル(東京都中央区)にて開催された、いばらき産業立地セミナーで「茨城工場を基点とした東日本地域事業戦略」と題し、立地企業として、溝口社長が講演を行いました。

講演では、茨城県や企業関係者など約550名の来場者を前に、当社の拠点設置の目的と経緯のほか、茨城工場に導入した多周波電源装置やSRIQ(超急速短時間加熱焼入れ)等の最新の設備・技術について紹介いたしました。さらに、マザー工場としての役割が期待される茨城工場での技術の醸成が、当社の国内および世界への躍進につながることをアピールし、セミナー後の交流会でも好評を多数いただきました。



講演を行う溝口社長

「ネツレンCSRレポート2015」の発行

2015年10月、当社は、持続可能な社会の実現に向けたCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の取り組みについて、すべてのステークホルダーの皆様にお伝えするとともに、活動のさらなる向上を目的に「ネツレンCSRレポート2015」を発行いたしました。

今回のレポートでは、今後のありたい姿を描いた長期ビジョンである「NETUREN VISION 2020」を軸に、社会・環境問題の解決に資する当社の技術・製品・サービスに焦点を当てて報告しています。

※「ネツレンCSRレポート2015」は当社ホームページに掲載しています。

<http://www.k-neturen.co.jp/>



「ネツレンCSRレポート2015」

さらに進化した「次世代型高周波誘導加熱電源」を開発

当社では、SiC-MOSFET半導体を使用した高周波誘導加熱電源装置を新たに開発いたしました。

この電源装置は、少ない電力損失と優れた高温特性が特長の次世代パワー半導体として注目されているSiC-MOSFETと、当社がこれまで独自に培ってきた半導体の高速スイッチング技術を融合させた、新しい電源装置(160kW-200kHz)であります。

また、この電源装置は、従来の半導体であるSi-MOSFETを使用した電源装置に比べて大幅な小型軽量化(当社比：容積40%減、重量50%減)、高変換効率化、省電力化、機器冷却水削減等の省エネルギー化を実現しており、今後は当社内での評価試験を実施した後に、自動車関連部品の熱処理用途に活用されることを期待しております。

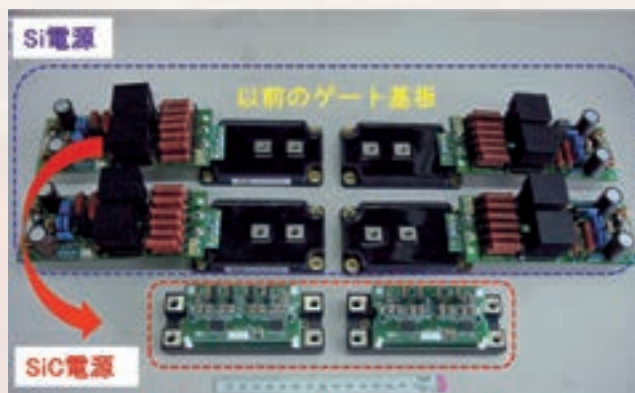
現在、さらなる大容量の電源装置の開発を進めており、高品質、高効率、低コストを目指す次世代電源装置の商品ラインナップの拡充を図る所存であります。



SiC-MOSFETを使用した高周波誘導加熱電源

表. 従来機とSiC半導体使用機の比較(160kW-200kHz)

| | | 従来機 (Si半導体) | 開発機 (SiC半導体) |
|------------|----|-------------|--------------|
| 寸法 (mm) | 高さ | 1,950 | 1,500 |
| | 奥行 | 800 | 600 |
| | 幅 | 1,000 | 1,000 |
| 重量 (kg) | | 900 | 420 |



Si電源(青枠部分)とSiC電源(赤枠部分)

NETUREN NETWORK

ビジネスフィールドを創造し、さらなる飛躍を目指します。

ネットレン国内事業所一覧

- ① いわき工場
- ② 茨城工場
- ③ 本社
- ④ 寒川工場
- ⑤ 湘南事業所・平塚工場
- ⑥ 可児工場
- ⑦ 刈谷工場
- ⑧ 尼崎工場
- ⑨ 神戸工場
- ⑩ 赤穂工場
- ⑪ 岡山工場



Group Information

NETUREN MEXICO, S.A. de C.V

会社概要

| | |
|------|------------------------------|
| 所在地 | メキシコ合衆国アグアスカリエンテス州 |
| 事業内容 | 熱処理受託加工およびIH（誘導加熱）装置等のメンテナンス |
| 資本金 | 4,000千USドル |
| 代表者 | 中尾 安幸 |

NETUREN MEXICO, S.A. de C.Vは、自動車関連業界のグローバル化に対応するとともに、既存の取引先に加え新規の取引先からの受注をも的確にとらえていくことを目的に、2015年4月に設立されました。現在、工場の建設を進めております。

同社は、熱処理受託加工およびIH（誘導加熱）装置等のメンテナンスを事業としており、今後、当社グループにおける北中米での事業戦略の重要な拠点としてまいります。



同社 工場完成予想図

セグメント別営業の概況

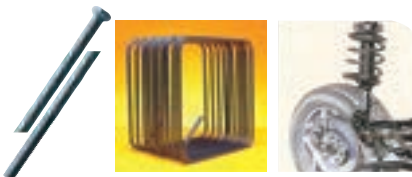
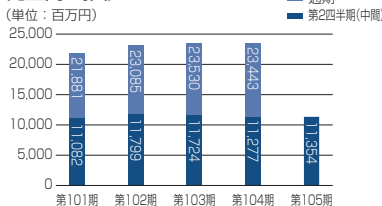
製品事業部関連事業

当社主力製品である建設関連製品の販売量は、主として建設コストの高騰によって着工件数が伸び悩んだことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

一方、高強度ばね鋼線（ITW®）の販売量は、米国では減少したものの、中国、欧州および国内での販売量が伸びたことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は、11,354百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は、660百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

売上高の推移



PC鋼棒 高強度せん断補強筋 サスペンション用ばねの使用例

PC鋼棒関連製品

高周波熱処理を応用したプレストレストコンクリート用部材である高強度、高品質のPC鋼棒および関連製品の製造・販売を行っております。

ばね鋼線関連製品

高周波熱処理された冷間成形用の高強度ばね鋼線（ITW®）の製造・販売を行っております。

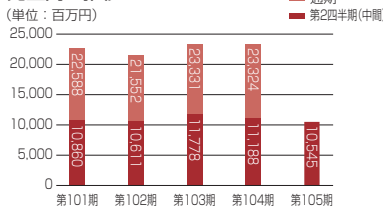
IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連、誘導加熱装置関連の売上高は、主として自動車業界向けの受注が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。建設機械部品関連の売上高は、建設機械業界からの受注の回復が遅れていること、中国での受注が低迷したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

また、自動車部品関連の売上高は、主として国内の販売量が伸びたことにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は、10,545百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は、358百万円（前年同期比49.6%減）となりました。

売上高の推移



旋回輪の高周波焼入れ機 コンパクトCVJ焼入れ機

熱処理受託加工関連

高周波熱処理を中心にあらゆる機械部品の熱処理受託加工を行っております。

自動車部品関連 / 建設機械部品関連

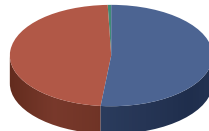
中空ラックバー、EPS用ウォームホイール等の自動車部品および建設機械用旋回ユニットの製造・販売を行っております。

誘導加熱装置関連

誘導加熱・熱処理装置、周波数変換装置等の設計・製作・販売・エンジニアリングを行っております。

セグメント別売上高構成比

| | | |
|-----------|-------|-----------|
| 製品事業部関連事業 | 51.7% | 11,354百万円 |
| IH事業部関連事業 | 48.0% | 10,545百万円 |
| その他 | 0.3% | 63百万円 |



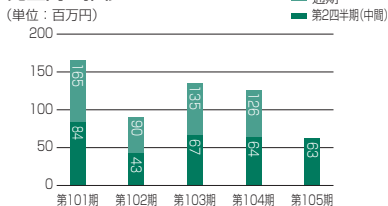
その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等でありです。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は、63百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は、29百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

売上高の推移



オーバルコート大崎マークウエスト

賃貸事業

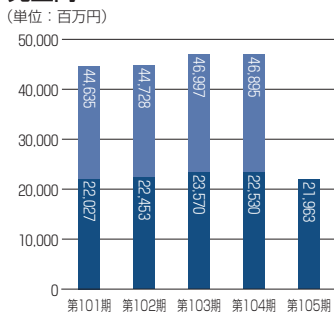
「オーバルコート大崎マークウエスト」に当社が所有するフロアおよび当社が行う事業に関連する設備等の賃貸事業であります。

その他

上記以外の事業であります。

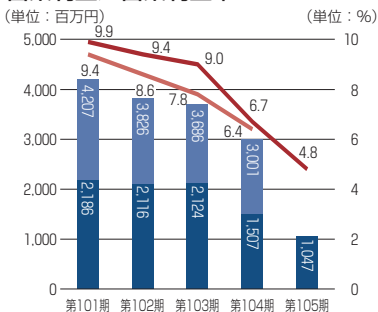
連結財務ハイライト

売上高



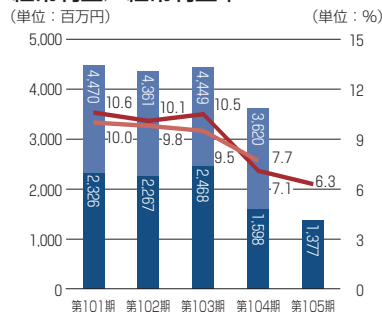
通 期
第2四半期(中間)

営業利益／営業利益率



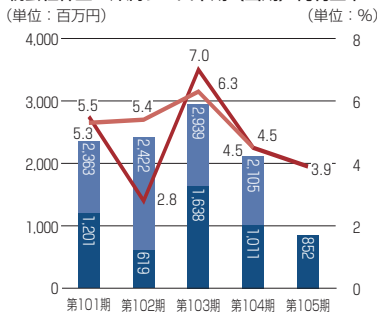
通 期
第2四半期(中間)

経常利益／経常利益率



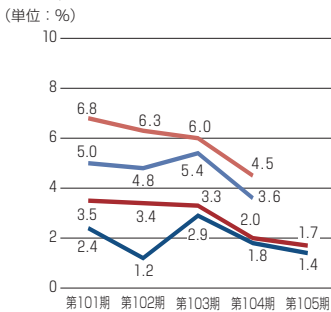
通 期
第2四半期(中間)

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率



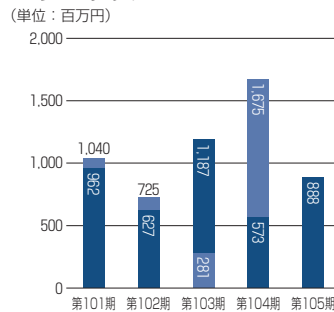
通 期
第2四半期(中間)

ROE／ROA



通 期
第2四半期(中間)

フリーキャッシュ・フロー



通 期
第2四半期(中間)

●財務の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、81,508百万円（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。この主な要因は、流動資産が増加したものの、投資有価証券が減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、15,197百万円（前連結会計年度末比2.9%減）となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したものの、長期借入金が増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、66,310百万円（前連結会計年度末比0.2%増）となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、73.7%となりました。

財務諸表の概況（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 科 目 | 前連結会計年度 平成27年3月31日現在 | 当第2四半期連結会計期間 平成27年9月30日現在 | 科 目 | 前連結会計年度 平成27年3月31日現在 | 当第2四半期連結会計期間 平成27年9月30日現在 |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
| 流動資産 | 34,770 | 35,402 | 流動負債 | 12,015 | 11,941 |
| 現金及び預金 | 13,763 | 14,583 | 支払手形及び買掛金 | 5,006 | 5,244 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,307 | 14,692 | 短期借入金 | 2,144 | 2,297 |
| 有価証券 | 190 | — | 未払法人税等 | 281 | 406 |
| 商品及び製品 | 958 | 950 | 賞与引当金 | 539 | 568 |
| 仕掛品 | 1,305 | 1,554 | その他 | 4,043 | 3,424 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,049 | 1,779 | 固定負債 | 3,636 | 3,255 |
| その他 | 2,201 | 1,844 | 長期借入金 | 1,020 | 819 |
| 貸倒引当金 | △4 | △3 | 退職給付に係る負債 | 901 | 896 |
| 固定資産 | 47,058 | 46,106 | その他 | 1,714 | 1,540 |
| 有形固定資産 | 31,880 | 31,503 | 負債合計 | 15,652 | 15,197 |
| 建物及び構築物 | 9,693 | 9,471 | 純資産の部 | | |
| 機械装置及び運搬具 | 10,874 | 10,207 | 株主資本 | 56,045 | 56,599 |
| 土地 | 10,209 | 10,204 | 資本金 | 6,418 | 6,418 |
| 建設仮勘定 | 719 | 1,248 | 資本剰余金 | 5,528 | 5,528 |
| その他 | 384 | 371 | 利益剰余金 | 45,768 | 46,322 |
| 無形固定資産 | 990 | 985 | 自己株式 | △1,670 | △1,670 |
| 借地権 | 973 | 969 | その他の包括利益累計額 | 4,123 | 3,494 |
| その他 | 16 | 16 | その他有価証券評価差額金 | 2,057 | 1,344 |
| 投資その他の資産 | 14,187 | 13,616 | 為替換算調整勘定 | 2,262 | 2,327 |
| 投資有価証券 | 13,892 | 13,331 | 退職給付に係る調整累計額 | △196 | △177 |
| 長期貸付金 | 49 | 46 | 非支配株主持分 | 6,007 | 6,216 |
| その他 | 331 | 324 | 純資産合計 | 66,176 | 66,310 |
| 貸倒引当金 | △85 | △85 | 負債純資産合計 | 81,828 | 81,508 |
| 資産合計 | 81,828 | 81,508 | | | |

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前第2四半期連結累計期間 | 当第2四半期連結累計期間 |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成26年4月1日から平成26年9月30日まで | 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで |
| 売上高 | 22,530 | 21,963 |
| 売上原価 | 17,825 | 17,586 |
| 売上総利益 | 4,704 | 4,377 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,197 | 3,329 |
| 営業利益 | 1,507 | 1,047 |
| 営業外収益 | 288 | 383 |
| 営業外費用 | 197 | 53 |
| 経常利益 | 1,598 | 1,377 |
| 特別利益 | 24 | 128 |
| 特別損失 | 28 | 40 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,593 | 1,465 |
| 法人税等 | 463 | 461 |
| 四半期純利益 | 1,130 | 1,003 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,011 | 852 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 119 | 151 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前第2四半期連結累計期間 | 当第2四半期連結累計期間 |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成26年4月1日から平成26年9月30日まで | 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,425 | 2,210 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,851 | △1,322 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △649 | △406 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △152 | 20 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △227 | 502 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,684 | 13,422 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 154 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 12,612 | 13,925 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

(2015年9月30日現在)

株式の状況

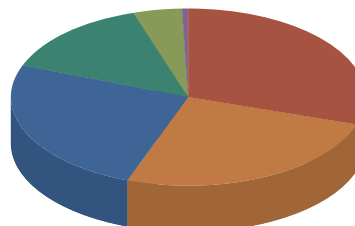
発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 44,713,930株
 株主数 3,506名

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------------------------------|---------|---------|
| 新日鐵住金株式会社 | 3,101 | 7.3 |
| 株式会社メタルワン | 2,288 | 5.4 |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO1 | 1,979 | 4.6 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,738 | 4.1 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,432 | 3.4 |
| JFEスチール株式会社 | 1,171 | 2.8 |
| 株式会社三井住友銀行 | 907 | 2.1 |
| NTN株式会社 | 836 | 2.0 |
| 第一生命保険株式会社 | 826 | 1.9 |
| 知多鋼業株式会社 | 819 | 1.9 |

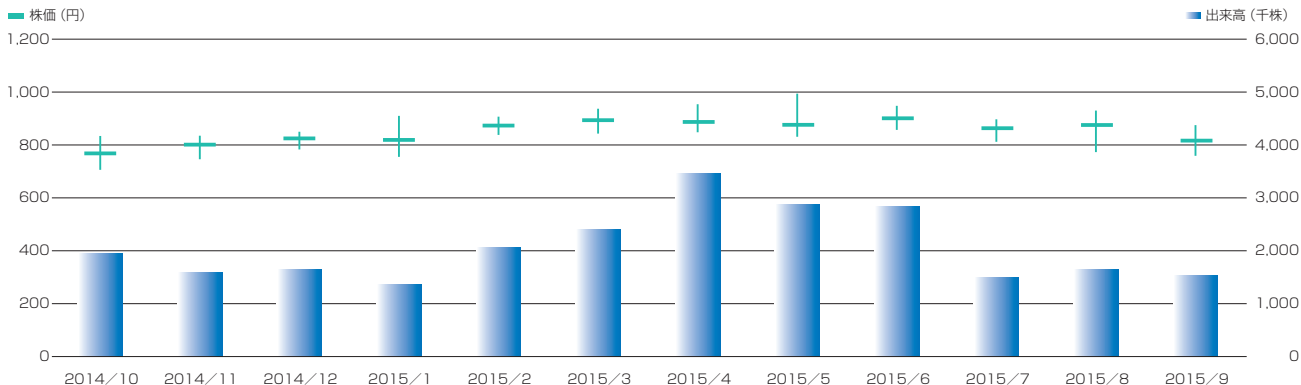
- (注) 1. 当社は、自己株式2,092千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、信託業務に係るものであります。

所有者別株式分布状況



| | | |
|----------|----------|--------|
| ■ その他法人 | 13,473千株 | 30.1% |
| ■ 外国法人等 | 11,469千株 | 25.7% |
| ■ 金融機関 | 11,227千株 | 25.1% |
| ■ 個人・その他 | 6,311千株 | 14.1% |
| ■ 自己名義株式 | 2,092千株 | 4.7% |
| ■ 証券会社 | 139千株 | 0.3% |
| | 44,713千株 | 100.0% |

株価および出来高の推移



会社概要

(2015年9月30日現在)

商 号 高周波熱錬株式会社 Neturen Co.,Ltd.

所 在 地 〒141-8639
東京都品川区東五反田二丁目17番1号
オーバルコート大崎マークウエスト

T E L 03-3443-5441 (代表)

F A X 03-3449-3969

設 立 昭和21年(1946年)5月15日(現社名)

資 本 金 6,418,359,752円

従 業 員 数 連結 1,357名 単独 789名

| | | |
|-----|---------------|-----------|
| 役 員 | (代表取締役)取締役社長 | 溝 口 茂 |
| | (代表取締役)専務取締役 | 川 寄 一 博 |
| | 常 務 取 締 役 | 中 尾 安 幸 |
| | 常 務 取 締 役 | 元 木 信 二 郎 |
| | 取 締 役 | 合 屋 純 一 |
| | 取 締 役 | 大 宮 克 己 |
| | 取 締 役 | 大 安 川 知 克 |
| | 取 締 役 | 村 田 哲 之 |
| | 取締役(社外取締役) | 寺 浦 康 子 |
| | 監 査 役 (常 勤) | 稲 垣 均 |
| | 監査役(社外監査役) | 浦 部 善 和 |
| | 監査役(社外監査役) | 吉 峯 寛 |

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

| | | |
|-------|--------|---------|
| 基 準 日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| | 期末配当 | 毎年3月31日 |
| | 中間配当 | 毎年9月30日 |

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電 話 照 会 先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネット <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

ホームページURL

公 告 の 方 法 当社ホームページに掲載する。

<<http://www.k-neturen.co.jp/ir/kohkoku/kohkoku.html>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所 (市場第1部)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

－ 1 単元 (100株) 未満の株式をお持ちの株主様へ－

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式と併せて単元株式数(100株)となる数の株式について、当社に買増請求することができます。また、簡単なお手続きにより、ご所有の単元未満株式を買取請求することもできます。

なお、当社では、当社単元未満株式の買増・買取に関する手数料を無料としておりますので、ご案内申し上げます。

また、いずれのお手続きも、詳細につきましては、証券会社にて口座を開設している株主様につきましてはお取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては当社特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までお問い合わせください。

ホームページもご覧ください。

<http://www.k-neturen.co.jp/>



K NETUREN

本レポートに関するお問い合わせ先

高周波熱錬株式会社 管理本部企画管理部
〒141-8639 東京都品川区東五反田二丁目17番1号
オーバルコート大崎マークウエスト
TEL 03-3443-5441(代表) / FAX 03-3449-3969



このレポートは、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています